

Contents

家事手伝い	*3
トラブルシューター	*4
嘆息	*5
衝動	*6
週の終わりには	*7
夜中に切り離されて	*8
とはいえ	*9
森林浴	*10
周波数	*12
飼われて思うこと	*13
穏やかな朝に	*14
誤変換の夢	*15
いちごジャム	*16
志向性	*18
ホットコーヒー	*19
あとがき	*21

家事手伝い

僕のツイッター、コロナのコの字もない
まさか鈍感、まさに鈍感

子を持つ母のツイッターは違い
毛を逆立てる母猫のようになっている

言うなかれ、ヒステリックと
守ろうと必死なのだ

僕も守ろうと必死です
食事、風呂洗い、目いっぱいです

ときにこないだカウンセリングでヒキコの僕を気遣い
今度はもっと外に出てみましょうと先生が言うんです

今、外出ちゃいけないんじゃないでしたっけ
というツッコミが脳裏をよぎり

家にいる人がいるから外に出られる人もいる
僕らも敗者という形で社会に貢献しているのだ

うむ、凸凹それでよい
自足してるなら誰の文句もどこ吹く風だ

トラブルシューター

ある人が絡まれてると見て取って相手をミュートしたのはいいが

その人も大概変だと気づかされ、もう僕らには何もわからぬ

こうやってトラブルだけはごめんだと、人は疎遠になりまして

ああ、僕もトラブルメーカーなんてこと。きっとそうだよ僕を見る目が

しゃらくせえ、そんなこんなで行く道を退いてられるか、四月の朝に

嘆息

どうしてあんなに怒ったんだろう

やっぱり嘘だからじゃないか

人権を云々してたあの人

ネトウヨ〇ね〇ね言ってたよね

感慨深いです

衝動

謙虚に考える人たちがいる

S N Sの主導権の取り合いなどからは一線を退いて
学者とはこんな感じか

しかしそれらも無傷ではられない

知らないことは大事じゃないから知らないのだと

知るべきことは俺たちは知っている

というレスを見た

こうして人は無謬^{むびゆう}の存在になり

もう軌道修正も知識の進歩もないのね

しかし踏みつけられた者たちの

鼻を明かしてやりたいという衝動の前に

知性はかくももろく崩れ去ったのだった

ああ、僕が踏んだのが悪いのだ

僕とて踏まれたのだ

踏み踏みとなかなかこしのある

うどん、うろん、ぼろん

週の終わりには

月曜朝の憂鬱を忘れて久しいし
金曜夜の高鳴りも何もない

毎日休みだからね
君らもう忘れたころかテレワーク

しかし休まることのない肝臓よ
いかんぞうなんて言って余計落ち込む

悲しみも喜びもなしに
平板化された感情の地平から

酒なしに喰うカレーの米粒から
肉体反応のようにこぼれる涙よ

せめても人と同じようにしたいので
月曜日に向けて殊勝な顔をしている

夜中に切り離されて

こんな時間に目が覚めて

どんな時間？

草木も眠る丑三つ時に

いずれ一人になる

その時にこんな夜に

また荒廃体験に襲われぬとも限らない

その時が来たら

自分の持っているどんなものをもってしても

逃れることができないと

父が人は一人で生まれて一人で死ぬと言っていた

母がだから男は嫌なんだと

一人で生まれてきたような顔してと言外に言っていた

ああ、一人になったらどうしよう

とはいえ

ありがとう、無事でいてくれて
無事じゃないかもしれないけど

時間は皆に平等に流れていて
何もかも変わりゆくというのに

僕ときたら何も変わっておらず
何してたんと言われそうな

寝てた
とはいえ老けた

夜も更けて
変わらぬものを求める気持ちが
あってもいい

リニューアル
いろいろ進化してますね

森林浴

場によって語り口が変わることはある
5ch とツイッターでは少し違う
ただ空気を読めない者のみが
5ch のノリを引きずりツイッターで^{ひんしゆく}輦蹙を買う

総じて顔が見えなくなるにつれ
人は無礼になるようだ

人は無数の自己を持つ
職場の顔、居酒屋での顔、家の顔
今、僕は主に父母に対してのみ自己だった

フォーマル、ノーマル、アブノーマル
いろいろあっていいが

僕もいわゆる空気を読めない者なので
空気を吸おうと思う



周波数

チューニングを合わせる

なるほど、地元密着 NAC ○ 5 のフランクさは心地よく

しかしいささか気取った J-WA ○ E の上品さも捨てがたい

いろいろ他にも合わせる周波数はあり

これらを気分によって適時使い分け

って頭おかしくなっちゃう～という

音酔いが

そしてここで一人ごちる

何を言っているのか、もうとっくにおかしいじゃないかと

しかし静かに寝なければ

全部放り投げてでも寝ていよう

飼われて思うこと

疫病学の専門家は外に出るなど言い
カウンセラーは外に出ましようと言う

足並みはそろっていない感じの
which is which ?

司令塔が複数あるのはよくない気もするのだが
そこへテレビのコメンテーターが
すべてを焼け野原にするのである

不要の外出を控えろって
いらないものなんて一つもないよっ、と君
必要なものなんて一つもないとニートの僕

まあ、ゆるく時が過ぎるのを待ちましょ
ざっと二、三年
めまいしてきちゃった

大丈夫だよ、それで
それだけで二十何年も過ぎたのだもの
ダメじゃないですか

うん、どう過ごしても一生

穏やかな朝に

まじめであることが
自滅を意味することもある
地面に落下するように
素で受け身も取れぬのだ

ある中年のアル中が
こともなげに言っただけのけるが
どこがまじめだったのか
皆目誰もわからない

もう少しまじめになりたい

誤変換の夢

プロフィールに職業を書く欄があった
始め無職と書いた
気恥ずかしくなり無色と書き直してみた

なるほど、これはいい
色即是空な感じで
色事のない僕らしく

よくない
大衆浴場が大衆欲情に
宗教が集狂になったらどうする

当たらずとも遠からずな……って
しかしだ

意識的になされた錯乱から
真実を拾ってくることは

うまく書けた後は反響に耳を澄ます
賞賛、安堵、呪詛、煽情せんじょう

気づけば午後十時
これ以上は貪りの心であろう
そう言って床に就く

いちごジャム

子どものころ読んだ絵本で
小人のおばさんが青いいちごに
はけで赤い色を塗っていくというのがあった

こうやっていちごは赤くなっていくんだねと
納得したがまあそうではない

熟れて赤くなるということを知るのは
もう少し先の話

この道の先にブラウン管があるのかもしれない
ブラウン管とはまた古風な
男たちは……という感じで

いや歴史か、本か
本屋さんに並んでいる本もまた
流行歌もまた

と、出来上がりを想像するわけでもなく
母お手製のいちごジャム



志向性

目がいいというのは
単に視力のことだけではなく
同じものを見ていても
目に留まらなかったりすると
目が悪いのだと

たとえば一枚のスクショからいろいろなものが
見て取れるのだが
流行りの歌も見えるし
流行りの笑いも見えるし

ええ、気が付かなかったことはといえば
詩のサイトが復活していたこととか
気づきませんでした
チェックを怠りまして

集注すれば視野は狭くなる
余計なものは視野の外に流し
必要な一点めがけて思考をめぐらす
それもいいが広くも見たい

目の付け所という意味での目のよさ
それを磨いてきたし、気づきたい

ホットコーヒー

一体、謝れる人などお目にかかったことない
謝らせたい人ばかりだ

自分の考えは一切変えることなく
相手を折れさせるのは爽快だろうが
仲裁の仕方としては
一番成功率の低いやり方だ

お詫びは言葉にならず
朝一杯のコーヒーになって出てきたりする

あとがき

ホットコーヒーでも飲んでほっとう。というダジャレを述べると彼はうつつつかえ……。いやいや、いかがお過ごしですか。疫禍で詩を書くくらいしかできずにいました。混迷する社会問題を追及する手もそこそこに、それほど論理立ててものを書けない僕はいささかの憂さ晴らしにでもなればと詩を。僕が駄々をこねたら影響は大きいだろうから。

生きていると不思議なことに出くわすなぁと思うのです。不安は多いでしょう。そこに一服の清涼剤として詩があれば。明快さ、安心、滑稽み、悲哀。何か手に取ってもらえたら幸いです。

2021 年 5 月 19 日

多田龍介

ホットコーヒー



2021 年 5 月 20 日 初版発行

著 者 多田 龍介

発行者 多田 龍介

発行所 明 水 工 房

©Ryusuke Tada 2021

